



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 三和ホールディングス株式会社
 コード番号 5929 URL <http://www.sanwa-hldgs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高山 俊隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略部長 (氏名) 村上 光成

TEL 03-3346-3019

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	110,724	0.1	1,236	235.1	1,058	—	144	—
23年3月期第2四半期	110,609	2.4	368	—	88	—	△3,419	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △116百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △6,859百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	0.60	0.60
23年3月期第2四半期	△14.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	220,319	—	84,960	—	—	38.5
23年3月期	218,933	—	86,021	—	—	39.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 84,852百万円 23年3月期 85,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	—	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,500	3.5	9,000	97.3	8,600	113.2	4,000	—	16.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	257,920,497 株	23年3月期	257,920,497 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	17,614,394 株	23年3月期	17,613,204 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	240,306,901 株	23年3月期2Q	240,326,131 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想には、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災による一時的な景気後退から個人消費の回復、設備投資の下げ止まりなど持ち直しつつあるものの、原発事故の長期化や急激な円高、株安の進行などの影響で本格的な回復には至りませんでした。海外においては、米国経済は、期前半は、企業業績・雇用情勢も改善傾向が見られましたが、期後半にかけては個人消費の低迷、雇用の悪化、住宅市場の回復遅れなど、総じて弱い動きとなりました。また、欧州経済は、住宅市場、設備投資の回復など主要国を中心に改善が続きましたが、一部の国で財政危機が表面化し、先行きに不透明さが増しました。

このような環境下、当社グループでは、国内においては、多品種化の拡大に向けたグループ会社間の連携強化や事業再構築等、受注の拡大を最優先に取り組むとともに継続的なコスト削減、経営資源の有効活用による生産性の向上等に努めました。海外においては、米国では新製品投入及び買収事業とのシナジー効果創出を行い、欧州ではドイツ販売組織再編効果等による受注・販売数量の増加に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、円高に伴う円貨額の目減りにもかかわらず、前年同四半期比0.1%増の110,724百万円となりました。利益面では、グループを挙げての継続的なコスト削減や前期ののれん償却分の軽減が寄与し、営業利益は前年同四半期比235.1%増の1,236百万円、経常利益は1,058百万円（前年同四半期は88百万円の経常利益）、四半期純利益は144百万円（前年同四半期は3,419百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主にたな卸資産の増加により、前連結会計年度末と比べ1,385百万円増加し220,319百万円となりました。また、負債は主に借入金の増加により、前連結会計年度末と比べ2,446百万円増加し135,358百万円となりました。純資産については、配当金の支払による利益剰余金の減少やその他有価証券評価差額金等の減少により1,060百万円減少し84,960百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.7ポイント減少し38.5%となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に運転資金の増加や法人税等の支払により299百万円の資金減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に米国での事業買収による支出等により3,306百万円の資金減少となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入れによる収入の増加により302百万円の資金増加となりました。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末に比べ2,955百万円減少し17,351百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績回復基調に加え、前期の営業停止影響やのれん償却負担が軽減したこともあり、大幅増収・増益を見込んでいますが、米国住宅市場の低迷や急激な円高など外部環境の悪化から期初予想を下回る見通しでありますので通期の連結業績予想を修正しております。

なお、当期の配当予想につきましては1株当たり年間8円(第2四半期末・期末ともに4円)を変更していません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社(在外子会社)において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,991	16,735
受取手形及び売掛金	52,928	49,270
有価証券	1,749	2,832
商品及び製品	8,398	7,597
仕掛品	14,974	21,721
原材料	9,863	11,471
その他	6,962	7,731
貸倒引当金	△1,117	△1,262
流動資産合計	114,751	116,098
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	16,832	16,788
土地	22,448	22,549
その他（純額）	12,780	12,377
有形固定資産合計	52,061	51,715
無形固定資産		
のれん	48	804
その他	14,354	13,759
無形固定資産合計	14,402	14,563
投資その他の資産		
投資有価証券	23,145	23,483
その他	15,071	14,899
貸倒引当金	△499	△441
投資その他の資産合計	37,718	37,941
固定資産合計	104,182	104,220
資産合計	218,933	220,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,186	33,209
短期借入金	9,261	7,433
1年内返済予定の長期借入金	840	1,676
未払法人税等	1,990	566
賞与引当金	2,535	2,293
役員賞与引当金	57	—
災害損失引当金	259	212
その他	18,748	21,682
流動負債合計	66,880	67,073
固定負債		
社債	34,400	34,400
長期借入金	15,390	18,301
退職給付引当金	8,673	8,884
役員退職慰労引当金	109	73
長期未払金	2,255	1,351
その他	5,203	5,274
固定負債合計	66,031	68,285
負債合計	132,912	135,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	24,624	23,807
自己株式	△9,693	△9,693
株主資本合計	93,247	92,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,334	△4,256
繰延ヘッジ損益	106	—
為替換算調整勘定	△4,088	△3,321
その他の包括利益累計額合計	△7,316	△7,578
新株予約権	90	108
純資産合計	86,021	84,960
負債純資産合計	218,933	220,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	110,609	110,724
売上原価	82,659	82,638
売上総利益	27,949	28,085
販売費及び一般管理費	27,580	26,849
営業利益	368	1,236
営業外収益		
受取利息	72	60
受取配当金	272	272
有価証券売却益	17	7
デリバティブ評価益	—	119
その他	287	210
営業外収益合計	650	670
営業外費用		
支払利息	654	530
為替差損	27	130
持分法による投資損失	80	49
その他	168	139
営業外費用合計	930	849
経常利益	88	1,058
特別利益		
前期損益修正益	33	—
固定資産売却益	10	25
特別利益合計	43	25
特別損失		
固定資産除売却損	16	24
投資有価証券売却損	27	11
投資有価証券評価損	79	211
子会社事業再構築費用	299	270
課徴金	2,815	—
その他	132	56
特別損失合計	3,370	575
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,238	508
法人税等	198	363
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,437	144
少数株主損失(△)	△17	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,419	144

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,437	144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,215	△921
繰延ヘッジ損益	85	△106
為替換算調整勘定	△2,154	755
持分法適用会社に対する持分相当額	△137	11
その他の包括利益合計	△3,422	△261
四半期包括利益	△6,859	△116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,837	△116
少数株主に係る四半期包括利益	△21	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,238	508
減価償却費	2,642	2,544
のれん償却額	781	86
貸倒引当金の増減額(△は減少)	98	60
賞与引当金の増減額(△は減少)	42	△257
退職給付引当金の増減額(△は減少)	36	50
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△47
受取利息及び受取配当金	△345	△333
支払利息	654	530
持分法による投資損益(△は益)	80	49
課徴金	2,815	—
売上債権の増減額(△は増加)	8,056	4,289
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,021	△7,030
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,349	△196
その他	2,177	1,032
小計	4,432	1,287
課徴金の支払額	△2,815	—
利息及び配当金の受取額	353	364
利息の支払額	△653	△549
法人税等の支払額	△271	△1,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,044	△299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,138	△888
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,186	115
固定資産の取得による支出	△1,314	△972
貸付けによる支出	△337	△635
貸付金の回収による収入	571	708
事業譲受による支出	—	△1,198
その他	△92	△436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,124	△3,306
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	696	△2,266
長期借入れによる収入	3,000	4,061
長期借入金の返済による支出	△5,429	△422
社債の発行による収入	2,000	—
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△1,201	△961
その他	77	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△858	302
現金及び現金同等物に係る換算差額	△318	347
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,255	△2,955
現金及び現金同等物の期首残高	34,912	20,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,656	17,351

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	59,583	33,303	17,661	110,548	61	110,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	15	19	44	△44	—
計	59,593	33,319	17,680	110,593	16	110,609
セグメント利益 又は損失(△)	1,240	908	△134	2,014	△1,645	368

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 61百万円
- ・セグメント間取引消去 △44百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 61百万円
- ・全社費用 △925百万円
- ・のれんの償却額 △781百万円
- ・セグメント間取引消去 △0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米…アメリカ、カナダ、メキシコ他

欧州…ドイツ、オランダ、フランス、イタリア、イギリス他

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	61,640	30,127	18,895	110,663	61	110,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	26	19	58	△58	—
計	61,653	30,153	18,915	110,722	2	110,724
セグメント利益 又は損失(△)	1,747	238	△7	1,978	△742	1,236

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 61百万円
- ・セグメント間取引消去 △58百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 61百万円
- ・全社費用 △717百万円
- ・のれんの償却額 △86百万円
- ・セグメント間取引消去 0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米…アメリカ、カナダ、メキシコ他

欧州…ドイツ、オランダ、フランス、イタリア、イギリス他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。